

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成29年7月5日
タイトル	じょうずに植えたよ！初めての田植え！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成29年6月6日（火）福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組103名が、福山市東村町にある水土里ネット福山の組合員のかいのあきのり廻野明倫さんのほ場約17aで、田植えの農業体験をしました。

子ども達は、3組に分かれ、一組ずつ田んぼへ入ります。初めて田んぼに入った子ども達は「きゃー」と歓声をあげながら、一步一步田んぼの奥へ進みます。なかなか進めない子は先生やお母さんに手を繋いでもらっていました。一緒に入る保護者の方も足元に気を付けて慎重に歩いていました。

子ども達が植えやすいようにポットに植えられた苗を使いました。



いよいよ田植えです。初めは恐る恐る苗を持って土に手を入れていましたが、2列目では慣れてとても楽しそうに植えていました。植える前には自分の足あとの穴をちゃんと均して植えていました。

苗は、事前に松永幼稚園へ出向き、子ども達に粃蒔き体験してもらい、それを廻野さんが持って帰って育苗しておられたものです。

白組が田植えをしている間、ほかの二つの組の子ども達は畦から応援していました。自分たちの順番が来ると、裸足になり「きゃー」と歓声をあげながら、田んぼに入りました。入れ替わりに田植えが終わった子ども達は、廻野さんが用意してくださったタンクの水で足や手の泥を洗い流し、今度はお友達の応援をしました。

一番に田植えが終わって待っている子ども達は、周りの草やカエル、虫に興味津々で草を採ったり、カエルや虫を捕まえていました。一人3ヶ所植えて13列、3組が植えたので、約4000株を植えました。



最後に水土里ネット福山から子ども達や保護者に農業用水路の話をし、転落防止呼掛けのチラシと福山市の備蓄用飲料水を配布しました。

子ども達の田植えが終わると、廻野さんが田植え機で颯爽と田植えをして見せてくださいました。子ども達は、カッコいい田植え機を見入っていました。みんなで2時間かけて植えた面積をビューンと往復したら植えてしまいました。

保護者の方が「手で植える大変さもよくわかってよかったけど、最新の農機具を見ると技術の進歩がよく分かる。」と言っておられました。



これから子ども達は稲の成長を見守り、秋には稲刈りを体験します。収穫した米でおにぎりパーティーを開く予定となっていて今から楽しみにしています。これらはその都度取材して情報提供してまいります。